

# 日本マクロエンジニアリング学会第 36 回春季研究大会報告

2019年5月11日(土)、日本工業大学神田キャンパス 3F 多目的ホールにおいて、NPO マクロエンジニアリング研究機構令和元年度総会、日本マクロエンジニアリング学会令和元年度総会、第一回理事会と一緒に標記第 36 回春季研究大会が盛大に開催されました。

前回の研究大会と間がなく、発表/参加者が少ないことも危惧されましたが、15名の方にご参加いただき活発な質疑応答がございました。

ご多忙の折り、広報、会場設営、反省会段取り等にご尽力いただきました関係の皆様深く感謝申し上げます。



3F 多目的ホール



日本工業大学神田キャンパス

令和元年5月11日

## NPOマクロエンジニアリング研究機構

13:00～ 令和元年総会

## 日本マクロエンジニアリング学会

14:00～ 令和元年総会

## 春季研究大会

- 16:00～ 1) 地域農業とソーシャル・キャピタルに関する予備的考察  
新田義修 (岩手県立大学) ・高橋里咲子 (卒業生)
- 16:30～ 2) 会員増強策 (話題提供) 迹目英正 (デザインウォーター)
- 17:00～ 3) 全体討論 参加者全員
- 17:30～ 理事会

於：日本工業大学神田キャンパス3F多目的ホール

プログラム/ポスター



会場全景



発表1：地域農業とソーシャル・キャピタルに関する予備的考察-岩手県都市近郊農業を事例として-新田義修（岩手県立大学），高橋里咲子（卒業生）

農業産額、金額の低迷による地域経済の低迷、②農業所得の減少による担い手不足など農業の実態と課題を踏まえ、今後の農業再編に伴う不確実性への対応、更には雇用創出効果を高める上で、ソーシャル・キャピタルの重要性を、農業委員会など地域農業の関わりから具体的に解説された。

注) ソーシャル・キャピタル…社会の信頼関係、規範、ネットワークといった社会組織の重要性を説く概念

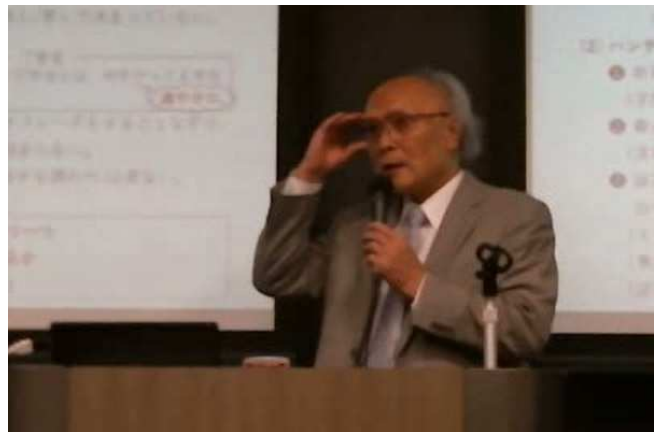


地域農業とソーシャル・キャピタルに関する予備的考察（新田会員）

発表2：会員増強策（話題提供）「マクロエンジニアリング開発計画の事例」～こうあるべきだより、私でできること～辻目英正（株）デザインウォーター）

事務局の立場/経緯から、会員サービス等で学会として基本的なものは継続するとしても、会員増強には効果がなかった。

会員増強には何をすべきか、マクロ学会の特性/位置づけやアンケート結果/会員ニーズを踏まえながら、結論として① こつこつと一つ一つ、② 一隅を照らせるか、③ 隗より始めよ！とし、自らこの問題の解決に向け始められる旨、発表した。



会員増強策（話題提供）「マクロエンジニアリング開発計画の事例」（辻目会員）

反省会：



トリッペリアモツータ神保町店

有志 7 名とイタリアン大衆酒場でワインをいただきながら反省会を催しました。研究大会のレジメは学会HP、発表の様子は Youtube にアップしてございますのでご参照下さいませ。文責（事務局）